

今年は関東大震災（1923 年 9 月 1 日）から 100 年になります。この 100 年間、日本列島は幾度となく大規模災害に見舞われ、甚大な被害を被りました。私たちが暮らす鈴鹿市も南海トラフ巨大地震の脅威を抱えており、決して他人事ではありません。出来れば避けて通りたい自然災害ですが、人の力では防ぐことは出来ません。如何にして被害を小さくするか命を守るか、「減災」という考え方と実行が、いま非常に重要となっています。

今回、防災部会の取り組み「情報バンク」「防災コラム」「防災視察研修」を紹介させていただける事になりました。この機会に防災・減災について一緒に考えていければと思います。

情報バンク

情報バンクってな～に!

活動目的 「災害で被災して困っている方へ“私の出来る一役”で何かやりたい」
共通ワード “やってみようとする人や団体がやれる範囲で無理なく繋がっていく”

私たちはこんな事が出来ますよ!



私たちはこんな事に困ってるよ!

避難 災害
地震 津波
台風 洪水



① 情報バンクとは

被災した人達からの色々な「困りごと（ニーズ）情報」と私たちボランティアが様々な活動で培ってきた「専門的なスキル（支援力）情報」を上手くマッチングして被災者の方に寄り添っていく、助け合いの仕組みです。

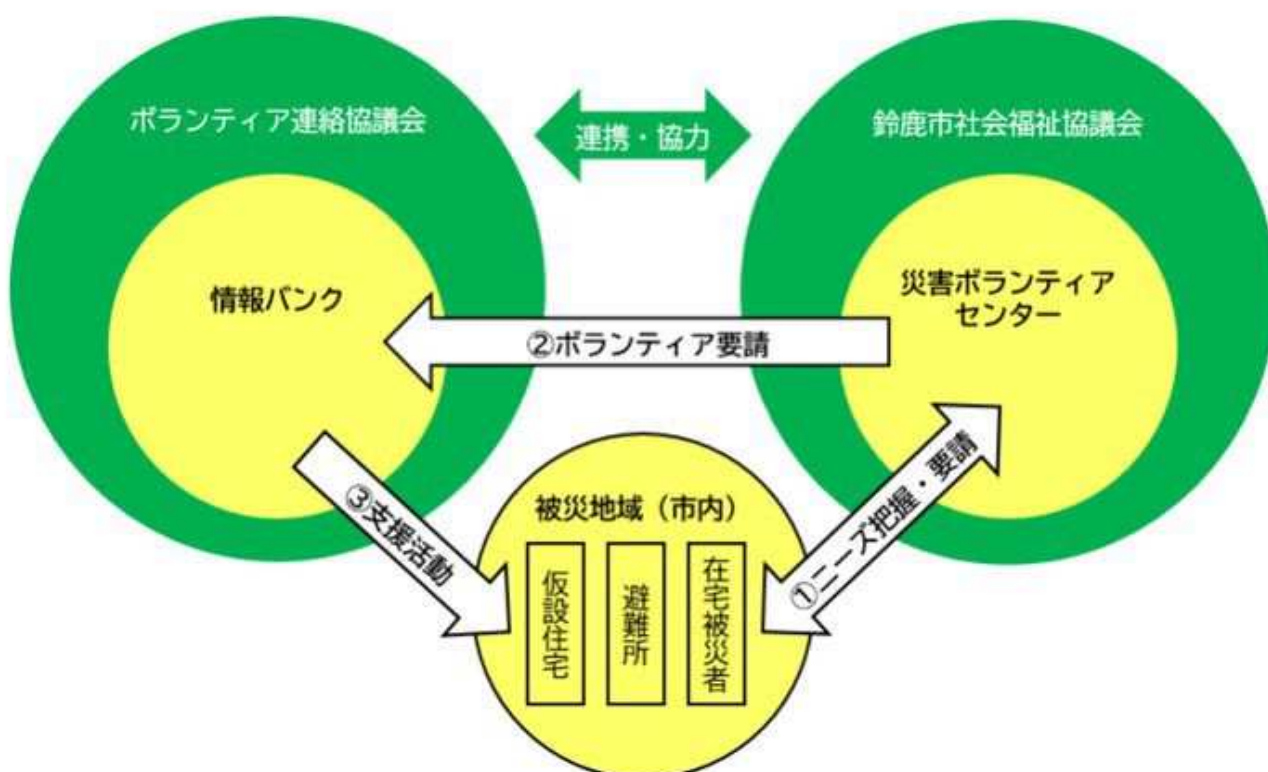
② 各自の得意分野を發揮

- ・施設や仮設住宅でのコーラス・楽器演奏・踊り・マジックショーなどの披露
- ・こども食堂など地域での子育て支援、親子コミュニケーションのお手伝い
- ・視覚・聴覚障害者の方へ様々なツールを使ったサポート
- ・高齢者や独居生活者への傾聴や見守りなど寄り添いサポート
- ・外国の方が不慣れな土地で被災しても、安心して暮らしていけるサポート
- ・炊き出しなどで温かく栄養バランスの摂れた食事の提供
- ・その他

- ① 日常的なボランティア同士の繋がりや情報共有が目的です。
- ② その繋がりをもとに「災害時支援システム＝情報バンク」を設立します。
昨年よりアンケートなどで「情報バンク」へのご理解とご協力をお願いしてきました。途中経過ではありますが、現在の進捗状況をご報告させていただきます。今後も皆様のご賛同をいただけることを願っております。よろしくお願いいたします。



◎情報バンク運用について



- ・情報バンクに登録された団体・個人情報 は鈴鹿市社会福祉協議会で管理します。
- ・災害ボランティアセンターに被災された方からの支援要請が寄せられます。
- ・情報バンク対応の支援要請については、社協から情報提供を受けたセンターより、支援可能な団体・個人に依頼がきます。
- ・団体内で検討してもらい、支援の判断をしてもらいます。

◎情報バンクの流れ

- ・令和4年10・12月号のボランティア通信にて、アンケートなどの周知活動を実施
- ・令和5年3月31日アンケート締切り **情報バンク登録団体14組 (団体13+個人1)**
- ・3月29日 第1回情報バンク交流会
- ・4月18日 鈴鹿市ボランティア連絡協議会総会において、満場一致で承認される
- ・5月23日 第2回情報バンク交流会

◎活動範囲

基本的には鈴鹿市内に限定します。但し、市外の依頼については支援団体の判断に任せます。

◎登録して終り？

- ・ボラ連加入全団体・個人ボランティアの登録を目標として長期的な取組みを考えています。
- ・他団体を知ること、活性化に繋がればいいかなと思っています。

◎登録団体紹介（14組）

高齢者福祉 … 3 団体
通訳奉仕員 … 2 団体
地域福祉 … 1 団体+ 1 個人
披露・上演・演奏 … 5 団体
災害・防災支援 … 1 団体
子ども・青少年福祉 … 1 団体



◎情報バンクより

《ハートフル・アクセス》の北川です。

自然災害は突然我が身に襲いかかります。発災後に出来る人が、出来る事を無理なく行う仕組みとして「情報バンク」が考えられました。他団体の活動も知れるので、助け合えたらいいな~と思います。

《手話サークルとちの実》の岡野です。

日頃は聴覚障害者の方々と手話で交流をしています。私たちが持っている知識や技術をボランティア団体の皆さんや市民の皆さんへお届けできたら嬉しいです。

◎鈴鹿市社会福祉協議会より

鈴鹿市ボランティア連絡協議会と鈴鹿市社会福祉協議会は、日頃から連携を図り、広報・啓発や集いの開催を通して、ボランティア活動の充実や支援が必要な方に想いを届ける取組みを進めています。この度、平時に限らず、有事の際の支え合いの強化につながる「情報バンク」の取組みをされるということで、非常に心強く思っています。

災害が発生しないことを切に願いますが、万が一に備え、今まで以上の情報共有や協力体制づくりを、一緒によろしく願います。

情報バンクへのお問い合わせやアンケート用紙のお取り寄せは下記へご連絡下さい。

連絡先 鈴鹿市社会福祉協議会 地域福祉課 齋木 059-373-5750

防災コラム

「The ぼらんてい〜あ」に防災・減災をテーマにコラムを掲載してきました。その中から三つほど紹介させていただきます。



The ぼらんてい〜あ 82号
防災コラム第3回
【ローリングストック】
少し多めに買い置きを！
何日分か？備蓄方法を学ぶ



The ぼらんてい〜あ 83号
防災コラム第4回
【南海トラフ大地震】
備えは出来ていますか
耐震診断と家具固定は？



The ぼらんてい〜あ 86号
防災コラム第7回
【地震への備え】
地震時の行動 大丈夫？
地震その時10のポイント

「The ぼらんてい〜あ」に掲載されているボラ連のQRコードです。
スマホをかざすと、他のコラムを見たり拡大したり出来ます。



防災視察研修

昨年12月4日に桜の森公園で「学ぼう鈴鹿の防災」をテーマに視察研修を行いました。お天気にも恵まれ23名の方が参加されました。防災トイレの組み立てや仮設テント設営など、災害時の避難所としての役割を体験しました。



桜の森公園(三重県鈴鹿市)



防災公園として、2015(H27)年2月22日に開園

防災トイレ



- ⑦防災あずまや
- ⑧かまどスツール
- ⑨積善倉庫
- ①防災トイレ
- ④防災井戸
- ③臨時ヘルポート
- ②防災パーゴラ
- ⑤防災水槽

防災あずまや



(鈴鹿市ボランティア連絡協議会 防災部会長 藤井末邦)